

2024～2025年度 東松山むさしロータリークラブ 会長 鯨井 美知子



テーマ
『ロータリーでミラクルチャンスを』

今年度（2024～2025）、東松山むさしロータリークラブの会長を務めさせていただき鯨井美知子です。宜しくお願い致します。

国際ロータリーのステファニーA・アーチック会長は（The Magic of Rotary）を発表し、多くの人々を救うロータリーの力を認識してこれを広げるよう呼びかけています。

五十幡和彦ガバナーは、「入って良かったロータリー」をテーマに、ロータリーには様々な出会いや学びがあり、ロータリーで出会った感動と魅力を、周囲の人々に語れるようにと言われました。

1905年2月23日米国イリノイ州シカゴで、初のロータリー例会が開かれました。今年で120年の歴史を持つロータリーですが、世界中にマジックを生み出してきました。私たち「東松山むさしロータリークラブ」も、今年で30周年を迎える節目の年になりました。

東松山むさしロータリークラブにおいては20周年の記念事業に「花とウォーキングの街、東松山」をコンセプトに、東松山駅東口に『歩夢ちゃんとネコのミーヤ』を寄贈いたしました。さらに25周年には、ピオパークにウォーキングの第2弾となる『来夢君』を寄贈いたしました。

今年度はいよいよ最終シリーズに突入するので、ウォーキングの街にふさわしい銅像を皆様にご披露できればと考えております。

世界に目を向けると戦争や紛争、飢餓や貧困、気候変動による異常気象など多くの困難に直面し、私たちの予測をはるかに超える出来事がこの地球上に起こっています。大きな影響を与え続けた新型コロナも今では落ち着きを見せ市民生活や経済活動も正常化されつつあります。

私たちはこれまで予測不能な出来事に果敢に挑戦し克服してきた実績があります。今度はその挑戦する力を夢と希望に満ちた、実りある方向に向けられる行動を起こしてゆければと思っております。

そのためにはDEI（多様性・公平性・包括性）を受け入れ、小さなことからでも変化をもたらせるようなミラクルを起こせばと考えております。

会員の皆様には、これまで以上にご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。